

ENEOS 海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2026 年 8 月 17 日

工学部 工学研究科修士課程（どちらか○で囲む）

所属学科・専攻・回生 材料化学 学科 専攻 2 回生

氏 名 永所康太朗

1. 参加期間 2026 年 08 月 04 日 から 2026 年 08 月 07 日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

アメリカ合衆国・メリーランド大学
International Workshop on Gallium Oxide and Related Materials (IWGO-6)

3. 発表成果（概要）

α 型酸化ガリウムの膜質向上を目指し、微細パターン加工を施したサファイア基板上に薄膜成長を行った結果について、ポスター発表を行った。多くの参加者と、得られた効果やその応用先などについて有意義な議論を交わすことができた。本学会は酸化ガリウムを中心に扱うものであったため、セッションが一つのみで、全参加者が同じ発表を聴講するという特徴的な形式であった。同じ材料を対象とした研究であっても、その内容やアプローチが多岐にわたることを知り、研究分野の広がりを変えて認識した。初めての国際学会への参加であったが、英語によるコミュニケーションの難しさを実感した。特に、我々日本人研究者が話す英語は、欧米の研究者のそれとはイントネーションなどに明確な違いがあり、互いに聞き取りに苦労する場面も多かった。今回の学会参加を通じて、将来的に留学や海外 PD などの形で研究活動を海外で行うことへの意欲が高まった一方、円滑な交流のためには、さらなる語学力の向上が必要であると認識した。このような貴重な機会を与えてくださった研究室メンバーの皆さま、ならびに今回の学会参加に際して助成いただいた ENEOS ホールディングス株式会社さまに、心より感謝申し上げます。

4. 奨学金の使途

全額を渡航費用として使用した。